



2024年2月2日

各位

会社名 フィード・ワン株式会社  
代表者名 代表取締役社長 庄司 英洋  
(証券コード 2060 東証プライム市場)  
問合せ先 管理本部総務部長 大友 世美成  
TEL 045 (311) 2300

債権の取立不能又は取立遅延のおそれに関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、当社関連会社である極洋フィードワンマリン株式会社を解散することを決議致しました。これに伴い、同社に対する債権の一部について取立不能のおそれが生じたのでお知らせ致します。

記

1. 当該関連会社の概要

(1)名称	極洋フィードワンマリン株式会社	
(2)所在地	愛媛県南宇和郡愛南町久良392番2	
(3)代表者の役職・氏名	代表取締役社長 吉本 慎也 代表取締役専務 佐野 亘	
(4)事業内容	クロマグロその他水産物の養殖及び販売	
(5)資本金	90百万円	
(6)設立年月日	2012年11月1日	
(7)純資産(2023年3月期)	△1,898百万円(2023年3月31日時点)	
(8)総資産(2023年3月期)	567百万円(2023年3月31日時点)	
(9)大株主及び持株比率	株式会社極洋 50%、フィード・ワン株式会社 50% (いずれも間接所有を含みます)	
(10)当社と同社の関係	資本関係	当社が間接所有を含み50%同社の株式を保有しております。
	人的関係	当社の取締役及び従業員が同社の代表取締役、取締役及び監査役を兼務しております。
	取引関係	当社は同社に1,365百万円の貸付を行っております。また、当社から同社へ飼料等の製品販売をしております。
	関連当事者への該当状況	同社は当社の持分法適用関連会社であり、関連当事者に該当致します。

## 2. 取立不能のおそれが生じた経緯

極洋フィードワンマリン株式会社（設立当時は極洋日配マリン株式会社）は天然資源に依存していたクロマグロの将来に向け安定的に供給を継続するため、クロマグロの完全養殖の事業会社として、2012年に当社グループと極洋グループと合弁にて設立した当社の関連会社です。

同社の事業を継続していく中で外部環境の大きな変化により、完全養殖クロマグロ事業の採算性が見込まれなくなったことから、今後の同社の役割・意義及び合弁パートナー双方の事業組織の最適化の検討の結果、合弁パートナーである極洋グループとの間で同社は一定の役割を終えたとの共通認識に至り、今後は得られた知見を両社にて発展的に活かしていく方針をもって同社を解散することを決議致しました。

解散を決議し、事業清算に向けて保有資産を売却することとなり、売却後の残余の財産はほとんどないことから、債権が取立不能となるおそれが生じました。

## 3. 債権の種類及び金額等

債権の種類及び金額	貸付金 1,365百万円
最近事業年度末日の連結純資産合計に対する割合	3.0%

## 4. 今後の見通し

当社は極洋フィードワンマリン株式会社における取組みにより、クロマグロ用配合飼料における栄養要求知見の集積、固形飼料の性能検証等のデータ集積が進み、当社の重要課題であるマグロ用配合飼料の性能向上に大きく貢献する成果を得ました。今後本取組みにより得られた知見を活用し、更なるマグロ用配合飼料の品質向上に尽力してまいります。また、本取組みにおいて培った高度な種苗生産技術をブリ人工種苗の生産に応用し、今後求められる優位種苗の開発に積極活用する方針です。

また、上記債権は貸倒引当金を引当済みであり、連結及び個別の業績に与える影響は軽微であります。

なお、当社の連結及び個別の業績予想については本日開示しました「2024年3月期通期（連結・個別）業績予想の修正及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご参照ください。

以上